

## 当日の参加者（順序不同、敬称略）

（新町）毛利秀士 北村直登 橋本和彦 高田博子 緒方義和 仁田信二 宮本茂弘 米村孝一  
 宮本茂史  
 （古町）佐伯洋興 柴田浩志 楠本裕之 松田清見 平野俊晴 田中恭徳 早川祐三 川上靖  
 益雪シエ 長野聖二 反後人美

景観アドバイザー 宇野史郎（熊本学園大学教授） 内丸恵一（崇城大学講師）  
 西島眞理子（建築士）

高木富士川計画事務所：高木淳二 宮野桂輔 宮野岳明 橋本理佐  
 熊本市：永山國博 福永卓巳 宮本肇 中嶋浩 林田純一 岡田左千枝

### 第二回協議会の感想（終了後のアンケートより）

#### WSの様子に対して...

- 初めて参加したが、熱心な議論が行われていてビックリした。
- 何について話し合っているのか皆がきちんと共有できていなかったように感じられた。
- 前回のWSよりも少し具体的な内容に感じられた。これから先が楽しみである。

#### 今回の内容を振り返って...

- 「らしさ」はソフトな面も大事。
- 何から手をつければ良いのか分からない。
- 景観と町屋がゴチャ混ぜになっている感じがする。
- より建設的な意見を望んでいる。
- もう少しピントを絞って議論を行ってほしい。

#### WSの進行に対して...

- 住みやすい町を考えると、通りごとの町づくりを進めてみてはとを感じる。
- 事例を作って他の地域に広げるために、早くモデル街区を決めてほしい。
- 協定まで進めていくためにはWSの時間が全然足りないと思う。



## 次回のご案内

日時：10月7日（金曜日）

午後7時から2時間程度

場所：桜の馬場 城彩苑 2階会議室

次回のテーマは、

「モデル街区候補地の推薦」についての検討です。

地域の住民の方々が自主的な町並み協定を結ぶ等、城下町の風情を感じられる町並みづくりをモデル的に取り組むことができそうなところについて話し合います。

新たに参加を希望される方がいらっしゃいましたら、下記のお問合わせ先までご連絡ください。

## 新町・古町の町屋をめぐる様々な動き その2（2011年）

小沢町の坪井川沿いに空き家となったお屋敷があります。かつて旅館だった母屋と2棟の蔵、庭には茶室もあります。古町の有志の方々の熱意ある説得により、建物の活用について持ち主の賛同を得ることができ、建物の活用を目指した動きが始まりました。早速、8月28日（日）には、古町の方々が中心となって庭の清掃活動が行われ、千原台高校の生徒さんを含む、約30名の方々が参加されました。早朝の3時間の作業で庭は、元の美しさを取り戻しました。今後は、母屋内部の清掃や障子貼りなどが予定されています。



清掃後の母屋外観



清掃後の茶室外観



清掃活動の様子

## お問合わせ先

熊本市 開発景観課 景観整備係 担当 中嶋・林田  
 電話 096-328-2507 ファックス 096-351-2182  
 メール kaihatsukeikan@city.kumamoto.lg.jp

第二回 城下町の風情を感じられる町並みづくり協議会が開催されました。

# 町並み便り 第2号

発行：熊本市開発景観課

平成23年9月

## 当日の様子

「第二回城下町の風情を感じられる町並みづくり協議会」が、8月26日（金曜日）午後7時から桜の馬場 城彩苑 会議室にて開催されました。当日は、前回のワークショップを振り返りながら新町、古町で建築物や看板などのデザインの基準と、そのような基準をどのようにして地域の住民の方々に守ってもらえるようにしていくかについて話し合いました。

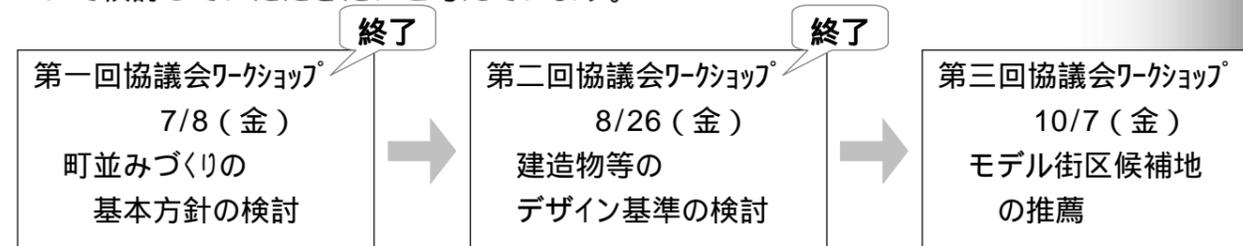
専門的で聞きなれない内容にもかかわらず、たくさんの熱い思いを聞くことが出来ました。



## 城下町の風情を感じられる町並みづくり協議会とは・・・

熊本市では、熊本城の城下町の町割が残る新町・古町地区において、市と地域が合意のもとに協働で町並みルールづくりや町屋の保存活用を行うことで、城下町の風情を感じられる町並みづくりに取り組んでいきたいと考えています。

そこで、新町・古町地区の皆様と3回にわたり協議会（ワークショップ形式<sup>2</sup>）を開催し、町並みづくりの基本方針や建造物等のデザイン基準などを定めた『町並みガイドライン<sup>1</sup>案』について検討していただきたいと考えています。



この協議会での作業結果を受けて熊本市が本年度取り組む内容は、次のとおりです。

- ❖ 町並みガイドラインの策定
- ❖ 城下町づくりモデル街区<sup>3</sup>（以下、「モデル街区」という。）候補地の推薦とモデル街区の関係者による町並み協定<sup>4</sup>案についての意見交換会の実施と協定締結に向けた取組み
- ❖ 町屋認定制度及び保存・修景助成制度の検討
- ❖ モデル街区の修景助成制度の検討

- 1 町並みガイドラインとは、建物等の外観デザインのルールや、「町並み協定」導入の取組みについて定め、みなさんの自主的な町並みづくりの活動に活用していただくものです。
- 2 ワークショップ形式とは、地域の皆さんが自ら参加・体験して、参加者の共同作業で計画などを立てたり、進めていくことです。
- 3 城下町づくりモデル街区とは、町並み協定が結ばれた街区になります。
- 4 町並み協定とは、町内単位や各通り単位での建物等の外観デザインのルールなどを定めたものです。協定を結ばれた土地や建物の所有者は、協定内容の建物の外観デザイン等のルールに沿って、新築、改修等を行っていただくこととなります。

新町・古町らしい町並みの基準とは？

建物や門塀、看板などの外観について、どのようなデザインにすれば、新町・古町らしい町並みになるのか意見を出していただきました。

建物などの部位	建物などの外観のデザイン基準についての意見
建物の形態	高さ <ul style="list-style-type: none"> <li>【古町】</li> <li>・ 通りごとに平均的な軒の高さがあるので、それを具体的な基準にできる。</li> <li>・ マンションなどと個人の住宅とでは大きさが違うので、分けたほうが良い。</li> <li>・ 低層の建物ばかりだと地価が上昇しないので、高さの規制は不動産売買の観点からは判断が分かれる。</li> </ul>
	庇 <ul style="list-style-type: none"> <li>【新町】</li> <li>・ 庇の取付けは、やりやすい。</li> <li>・ 軒下スペースは、人が集まりやすいのが良い。</li> <li>【古町】</li> <li>・ 軒裏はよく見えるので作り方を徹底する。</li> </ul>
	窓 <ul style="list-style-type: none"> <li>【新町】</li> <li>・ サッシの窓を落ち着いた色で木目調にする。</li> </ul>
	屋根 <ul style="list-style-type: none"> <li>【新町】</li> <li>・ 屋根の勾配は町並みに合うように配慮し、熊本らしい瓦を使用する。</li> </ul>
	外壁 <ul style="list-style-type: none"> <li>【新町】</li> <li>・ 外壁の色合いを統一する。</li> <li>・ トタンの壁面を木、竹、漆喰に改装する。</li> <li>・ 古いデザインだけで揃えると不自然なため、新しい建物でも色を統一することなどで、きれいな通りになる。</li> <li>【古町】</li> <li>・ お寺の参道に面する民家の側壁面が見えているのは、古町ならではの景観なので大事にするべきである。</li> <li>・ 看板建築を撤去し、隠れている二階の壁を露出するだけでも雰囲気が変わる。</li> </ul>
外構物	格子等 <ul style="list-style-type: none"> <li>【新町】</li> <li>・ 車庫を格子戸風にする。</li> <li>・ マンションの出入口も格子戸を使う。</li> <li>・ 職人町らしい格子のある町屋を残す、または格子風な町屋に改装する。</li> </ul>
	塀 <ul style="list-style-type: none"> <li>【新町】</li> <li>・ 小学校や保健福祉センターの通りを屋根付き塀にする。</li> </ul>
	門 <ul style="list-style-type: none"> <li>【古町】</li> <li>・ 門は実例を作り易い。</li> </ul>
その他	看板等 <ul style="list-style-type: none"> <li>【古町】</li> <li>・ 看板や駐車場、自動販売機などの外観を統一すれば、町並みが良くなったと住民が実感しやすいと思う。</li> <li>・ 看板建築はやめる。</li> </ul>
	その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>【新町】</li> <li>・ 道沿いから家や店の中の雰囲気が感じられるようになってくれないか？/バンコを置く。/道路を石畳にする。/角の家が重要である。/祭りで新町らしさを見せたい。/植栽の移動には多大なコストがかかる。/車で通過するのではなく歩いて見る。/祭りの旗を立てられるようにする。</li> <li>【古町】</li> <li>・ 土地の売買で所有者が変われば、基準があってもどうなるのか分からない。/ショーウィンドウもいいが、陽が当たる窓は商品が傷むので難しい。雰囲気作りは植栽などでもできると思う。/商売の町なので、活気ある雰囲気を作れる基準がいい。</li> </ul>

町並みに配慮された建物などの事例



ガレージを格子戸で目隠しして町並み景観に溶け込むようにする。



マンションの低層部に庇を設け、道路沿いには、和風の塀を設けることで、周囲の町並みと調和している。



アルミサッシの窓には木格子を取り付けて防犯を兼ねて古風な雰囲気を演出する。



バンコや暖簾で親しみやすい店の雰囲気づくり。

モダンなコンクリートのビルでも1階部分に瓦屋根の庇をつけて、周りの建物と似た雰囲気を演出している。



自動販売機も建物の色に合わせて、周囲の雰囲気に溶け込んでいる。



木の一枚板を用いて、建物の雰囲気と調和した看板。

自主的な町並みづくりを進めるためには？

住民の皆さんが自主的な町並みづくりを進めるために、具体的にはどのようなことを行えば良いか意見を出していただきました。

【新町での意見】

- ・ 新旧の建物が混在している中、新町らしい建物などの外観のデザイン基準について、住民全体がきちんと認識することが必要である。
- ・ 建物などの外観のデザイン基準の中でも、集客力を上げるための手段も必要である。
- ・ 住民全体で気持ちを揃えることが大事で、そうすることでバンコなどの新町らしい事例が出てくる。
- ・ 中職人町や段山電停付近で町並みづくりの話を具体的に進めてはどうか？
- ・ 町並み協定や助成制度を周知・アピールしていけば、マンションなどの新しい建物も外観のデザイン基準に沿った新町らしい外観に変わっていくことになるのではないかな？

【古町での意見】

- ・ 古町の良さを再認識する。
- ・ 外部の人に古町の良さを褒めてもらう。
- ・ 将来の町並みの姿を共有し、統一感を狙う。
- ・ まずは、通り単位で風鈴や看板などお金がかからないもので統一感を演出し、その統一感をみんなで体験し、成功事例を増やしていく。
- ・ 通り単位で候補を絞って、町並みづくりのモデル的な取組みを行っていく。
- ・ 五福ふれあいまちづくりの会は、約30名いるので、町並みづくりの取組みも出来そう。

景観アドバイザーからのアドバイス

【新町】

- ・ 住民の方を中心としたまちづくり会社で、タウンマネージメントやコーディネートを行う必要がある。
- ・ お祭りの馬追などにふさわしい町並みをつくっていきこうという動きであれば、新旧の建物の所有者が一緒に町並みづくりを進めていけると思う。

【古町】

- ・ 駐車場などに面する建物の妻側外壁は、通りから見え、さらに古町の街区の特徴である奥行きを感じさせるものであるから、その整備は重要である。
- ・ 古町地区内でも通り毎の個性が違う。
- ・ 例えば、通りの軒先に風鈴を掛けるなど何かの動きをつくることで、住民の方が町並みづくりの効果を実感的に実感することが特に必要である。
- ・ 通りごとに三人程度のリーダーがいれば、行動を起こすことは、そう難しいことではないと思う。通り毎に町並みづくりの効果を実感的に実感できる簡単な動きを起こしていくことが最も近道だと思う。

次回の検討へ

今回は、地域の方々の自主的な町並みづくりができそうなモデル街区候補地について検討します。